農業振興への取組み

JAバンク三重は、JAグループの一員として、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」の実現に向けて、金融・非金融の両面から、地域農業の振興に資する取組みを行っています。

地域農業の発展への取組み

● 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク三重では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける担い手の皆さまが安心して事業を継続できるよう、“担い手金融リーダー”を中心に、農業資金の融通はもとより、公的支援制度や販路拡大先のご紹介、事業承継や法人化への相談対応などの担い手の経営ニーズにあわせた各種支援策に積極的に取り組んでいます。

また、農業者の課題解決に向けた相談対応力を強化するため、“JAバンク農業金融プランナー”や“農業経営アドバイザー”の資格取得を進めており、令和２年度末時点での有資格者総数は199名となりました。

担い手の茶園への訪問

担い手の牛舎への訪問

担い手のトマト栽培ハウスへの訪問

● ビジネスマッチングによる農畜産物等の販路開拓支援

当会は、県内農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、「食の大商談会inみえ」（三重県等と共催）を、令和３年１月に開催しました。当商談会では、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、事前予約制のオンライン商談による開催となりましたが、200件を超える個別商談が繰り広げられました。

このほか、当会が仲介役となり、お取引先企業と系統団体との間、お取引先企業同士の間での県産食材の販路拡大や同食材を活かした商品開発等にかかるマッチング支援を174件実施し、うち35件が成約となりました。

● 利子補給等による農業経営の支援

JAバンクでは、農業経営を資金面でサポートできるよう農業資金をご利用いただいているお客さまに対して「JAバンク利子補給事業」を実施しており、最長５年間、最大年1.0%の利子補給を行っています。本県では令和２年度において、約8,500万円の利子補給を行いました。

このほか、農業法人等の規模拡大や財務安定化をサポートするため、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本供与の枠組みとして設けた「アグリシードファンド」の活用提案を行っています。

● 経営ニーズに応じた資金供給およびコンサルティング機能提供

JAバンク三重では、農業経営資金をはじめとしたプロパー資金、各種制度資金、日本政策金融公庫資金等の的確な資金供給対応に加え、税理士などの外部専門家と連携したコンサルティング機能の提供など、農業者の経営ニーズに応じた支援に取り組んでいます。また、農業経営者応援サイト「アグリウェブ」では、農業経営に必要な基礎知識、先進事例などを配信しています。

● 新型コロナウイルス感染症の影響拡大への対応

JAバンク三重では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたお客さまを対象に、資金相談窓口を通じて返済条件の緩和等に取り組むとともに、農業者の皆さまに対しては、実質無利子化措置等を講じた「県下JAバンク災害復旧応援資金」による資金繰り支援に取り組んでいます。なお、県下JAにおける当資金の貸出実績は、令和３年３月末時点で130件５億8,800万円となっています。

このほか、JAグループ三重では県産農畜産物の消費促進運動を展開するとともに、お取引先企業の農畜産物の役職員向け斡旋などを通じた地元農畜産物の応援消費に取り組みました。

● 豚熱（ＣＳＦ）発生への対応

JAバンク三重では、県内で発生した豚熱患畜により影響を受けられた農業者の皆さまをサポートするため、資金相談窓口での各種相談対応や三重県制度資金「豚熱緊急対策資金」の取扱いを通じて早期の経営再建支援に取り組んでいます。

● 農畜産物直売所の利用促進に向けた取組み

JAバンクでは、農業者の所得向上や地域農業の活性化を図るため、県内24か所をはじめ全国のJAが運営する農畜産物直売所で「JAカード利用代金割引サービス」を実施しています。

このサービスは、JAカードでお支払いされた方を対象として、カード利用代金請求時に、５％の割引を行うものです。